

- このガイドはドコモUIMカード(FOMAカード、ドコモminiUIMカードを含む、以下同)とドコモの携帯電話などでご利用になられた場合のガイドとなります。
  - ドコモの携帯電話などのSIMロックを解除して、他社のSIMカードを挿入してご利用された場合は、このガイドに記載する各種サービスはご利用いただけません。また、ドコモの携帯電話以外の携帯電話などにドコモUIMカードを挿入してご利用された場合も、このガイドに記載する各種サービスはご利用いただけない場合がございます。
- ※このガイドにおけるFOMA・Xi・5Gとは、お客さまがドコモUIMカードを挿入した状態でのFOMA・Xi・5G端末をあらわします。※このガイドに掲載している操作方法は、圏外  
のときは行えません。※「Android」は、Google Inc.の商標または登録商標です。※掲載されているサービス名・商品名・ロゴは各社の商標または登録商標です。

かかってきた電話を別の電話に転送

# 転送でんわサービス

お申込  
必要

月額使用料  
無料

※詳しくは、10ページ「ご利用  
料金」をご覧ください。

かかってきた電話を、あらかじめ登録した他の携帯  
電話、オフィスやご家庭の電話などに転送するサ  
ービスです。携帯電話の電源を切っているときや通  
話中でも、大切な連絡を逃しません。

お申込みは  
こちらから



iモードケータイから



スマートフォンから

こんなときに転送でんわサービスが使えます。

●電波が届かないところにいるとき

●携帯電話の電源が入っていないとき

●設定した呼出時間内<sup>※</sup>に回答しなかったとき

※呼出時間は、0～120秒の間で任意に設定できます。



移動中などで電話に出られない  
ときにも安心!

電波が届かない場所にいるときも、  
一般電話などに転送できる。



海外への長期出張時も、  
転送先で対応できる。



## ((( サービスのポイント )))

さまざまな電話への転送が可能。

一般電話、ドコモの携帯電話や他社の携帯電話、さらに海外の電話<sup>※</sup>へも転送できます。※国際転送サービスのお申込みが必要です。

他の電話機からの遠隔操作もできます。

ネットワーク暗証番号(4桁)を使って、一般電話やNTT公衆電話、ドコモの携帯電話などからも設定操作できます。

通話中にかかってきた別の電話を転送する場合、遠隔操作をする場合はドコモのホームページにて転送でんわ  
サービスの操作・設定方法に掲載されている「通話中着信設定」「他の電話機からの遠隔操作」をご覧ください。

※留守番電話サービスおよび転送でんわサービスをご契約の場合、通話中に別の電話がかかってくると「通話中着信設定」が優先して動作します。

【スマートフォン(AndroidOS搭載機)の場合】 下記から設定を行ってください。

※機種により異なる場合があります。

●端末画面からの操作

「設定」を選択 → 「通話設定」を選択 → 「ネットワークサービス」を選択 → 「転送でんわサービス」を選択

## 端末画面からの操作

●転送先として登録できるのは1件です。

**1**



「転送でんわ」メニューを表示させ、「転送サービス開始」を選択します。

**3**



転送先の電話番号を入力し、「確定」を選択します。

※転送先の電話番号を間違えると、転送先の方にも、かけてこられた方にも迷惑がかかります。正確に登録してください。

**2**



「転送先設定」を選択します。

**4**



転送先電話番号が設定されていることが表示されます。

### ●転送先登録にあたってのご注意

- 一般電話の場合は市外局番から、携帯電話の場合は「090」などから登録してください。
- 104** (電話番号案内) など3桁の番号やクイックナンバー、フリーダイヤルサービスの番号、ドコモの携帯電話から通話できない電話番号などは転送先として登録できません。また、他社の提供サービスによっては登録できない番号があります。
- 直接つながらない電話番号を転送先として設定すると、おかけになった方に「間違い電話」と誤解を与える恐れがありますのでご注意ください。(例) FAX:自動受信時に「ピー音」が流れる / PBX:交換手が応答する など
- 登録した転送先電話番号は、名義変更の際リセットされません。譲り渡す前に転送でんわサービスの解約をお申込みください。



### FOMA・Xi・5Gとの間で契約変更されたお客さまへ

転送でんわサービスの開始／停止は引継ぎますが、停止状態の場合、転送先の登録番号を引継がない場合がありますので、転送開始設定時に転送先を確認してください。

## ダイヤルボタン操作

●転送先として登録できるのは1件です。

**1**



を押してください。

☎ ガイダンス

メインメニューです。転送でんわサービスの呼出時間設定を行うには数字の**1**を、ガイダンスの有・無設定を行うには数字の**2**を、転送先電話番号の登録および変更を行うには数字の**3**を、サービス内容の確認を行うには数字の**4**を、終了するには**☎**を押してください。

**4**



または **\***

アナウンスの電話番号でよければ **#** を、訂正する場合は **\*** を押してください。

※ **#** (**\***) は、転送先電話番号のガイダンス確認後に押してください。

☎ ガイダンス

設定いたしました。メインメニューです。…サービス内容の確認を行うには数字の**4**を、終了するには**☎**を押してください。

**2**



**3** を押してください。

☎ ガイダンス

転送先電話番号を入力してください。

**5**



**#**  を押して終了します。

※ダイヤルボタン操作の場合(遠隔操作において、電話番号とネットワーク暗証番号を入力する際は除く)、次に行う手順がわかれば音声ガイダンスの途中でも操作が可能です。

**3**



転送先の電話番号を入力してください。

※転送先の電話番号を間違えると、転送先の方にも、かけてこられた方にも迷惑がかかります。正確に登録してください。

☎ ガイダンス

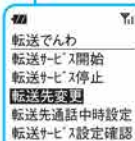
転送先電話番号に、XXXX-XXXX-XXXXを登録します。よろしければ **#** を、訂正するには **\*** を押してください。

# 転送先電話番号の変更

転送先として既に登録している電話番号の変更を行います。

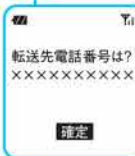
## 端末画面からの操作

1



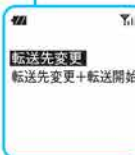
「転送でんわ」メニューを表示させ、「転送先変更」を選択します。

2



転送先の電話番号を入力し、「確定」を選択します。

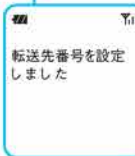
3



転送先電話番号の変更のみを行うか、変更と同時に転送でんわサービス「開始」の設定を行うかの選択を行います。

転送先電話番号の変更のみを行う場合は、「転送先変更」を選択します。

4



応答結果が表示されます。

## ダイヤルボタン操作

変更の操作は3ページ「転送先電話番号の登録」(ダイヤルボタン操作)と同様です。

ガイダンスを聞きながら、変更を行ってください。



### 転送先の電話番号を海外に設定するには？

ダイヤルボタンからの操作になります。

#### 入力例

各国際電話サービス会社の番号 (例:009130)

+

010

+

国番号

+

地域番号 (市外局番)

+

相手の電話番号

※転送先を海外へ設定するには、あらかじめ弊社との国際転送サービス契約 (転送でんわサービスとは別にお申込みが必要です)、およびドコモのWORLD CALLや国際電話サービス会社との利用契約が必要となります。

※WORLD CALLを利用し転送先を設定する場合は、上記入力例の「009130」を省略することも可能です (一部端末を除く)。

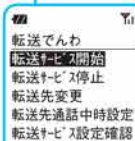
※利用する国際電話サービス会社により入力方法が異なる場合があります。詳しくは、国際電話サービス会社へお問い合わせください。

# 転送でんわサービスの開始

転送でんわサービスのご契約時には、本サービスの設定は「停止」になっています。

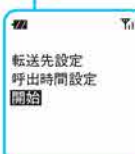
## 端末画面からの操作

1



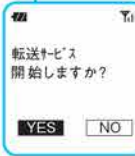
「転送でんわ」メニューを表示させ、「転送サービス開始」を選択します。

2



「開始」を選択します。

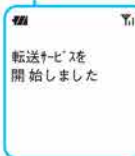
3



転送でんわサービスを開始する/しないの選択を行います。

確認画面に切り替わりますので、転送でんわサービスを開始に設定する場合は、「YES」を選択します。

4



応答結果が表示されます。

正常に設定されると、「転送サービスを開始しました」と表示されます。これで、設定は終了です。

## ダイヤルボタン操作

1



を押してください。

ガイダンス

転送先を×××-××××-××××に設定しました。

【留守番電話サービスにも加入されている場合】  
転送先が通話中の場合に、留守番センターにメッセージの登録を希望される場合は数字の1を押してください。

※留守番電話サービスに加入されていない場合は、手順③の操作を行ってください。

2



設定いたしました。

ガイダンス

3



を押して終了します。

※転送でんわサービスを「開始」にしても電話をかけることができます。

※電源が入っていて電波が届いている場合、転送先に転送されるまでは着信音のみ鳴りますのでその間は電話に出ることができます。

※マルチナンバーの付加番号で転送でんわサービスの「開始」「停止」設定を行う場合は、ドコモのホームページにてマルチナンバーの操作・設定方法をご覧ください。

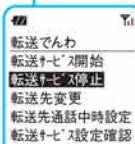
●メニューを表示させるまでの操作手順は、機種によって異なります。詳しくは、お手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。●画面は実際とは異なる場合があります。

# 転送でんわサービスの停止

ここでいう「サービスの停止」とは、転送でんわサービスのご契約そのものを解約するものではありません。

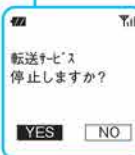
## 端末画面からの操作

1



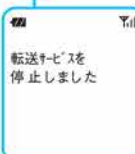
「転送でんわ」メニューを表示させ、「転送サービス停止」を選択します。

2



転送でんわサービスを停止する/しないの選択を行います。確認画面に切り替わりますので、転送でんわサービスを停止に設定する場合は、「YES」を選択します。

3



応答結果が表示されます。正常に設定されると、「転送サービスを停止しました」と表示されます。これで、設定は終了です。

## ダイヤルボタン操作



を押してください。



サービスを停止しました。

2

を押して終了します。

転送でんわサービスの停止では、以下のガイダンスとなる場合もあります。

転送でんわサービスが停止に設定されている場合

現在、サービスは停止中です。

転送でんわサービスが停止に設定されており、かつ留守番電話サービスが開始に設定されている場合

現在、留守番電話サービス中です。

※「通話中着信設定」で転送でんわサービスを設定している場合、転送でんわサービスを停止しても通話中着信時には転送でんわサービスが起動されます。



ひとことアドバイス

### 伝言メモと併用するときは？

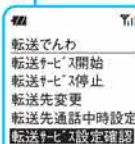
各携帯電話の伝言メモ機能と転送でんわサービスを同時に設定した状態で、転送でんわサービスを優先させる場合は、転送でんわサービス呼出時間を伝言メモ機能の呼出時間より短く設定してください。

# 設定状態の確認

転送でんわサービスの開始/停止の状態や各種設定内容を確認できます。

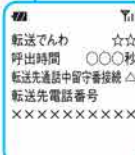
## 端末画面からの操作

1



「転送でんわ」メニューを表示させ、「転送サービス設定確認」を選択します。

2



応答結果が表示されます。正常に問い合わせができると、各項目についての応答結果が表示されます。  
☆☆ 開始/停止  
○○○秒 設定されている呼出時間  
△ する/しない  
××× 転送先として登録されている電話番号

## ダイヤルボタン操作



を押してください。



メインメニューです。…サービス内容の確認を行うには数字の#を押すには#を押してください。

2

を押してください。

4

「開始」の設定の場合  
現在、転送でんわサービス中です。  
「停止」の設定、かつ転送先電話番号が登録済みの場合  
現在、サービスは停止中です。

「転送先電話番号が登録されている場合」  
転送先電話番号に×××-××××-××××が登録されています。呼出時間は○○○秒が設定されています。メインメニューです。…

※転送先電話番号が未登録の場合は、「転送先電話番号が登録されていません。電話番号を登録してください。」などのガイダンスが流れます。

3

#を押して終了します。



ひとことアドバイス

### 「留守番電話サービス」を同時にご契約いただいているお客さまへ

転送でんわサービスと留守番電話サービスは、同時にサービス開始の設定はできません。ただし、転送でんわサービス「開始」の状態、転送先の電話が通話中の場合には留守番電話サービスセンターにメッセージを録音することができます。

※この機能は、留守番電話サービスの停止の設定にかかわらず作動します。  
※詳しくは、9ページをご覧ください。

# 呼出時間の設定

電波が届いている状態で、転送先に接続されるまでの呼出時間を設定できます。

●0~120秒の間で秒数を設定でき、その間は電話に出ることができます。

## 端末画面からの操作

- 「転送でんわ」メニューを表示させ、「転送サービス開始」を選択します。
- 「呼出時間設定」を選択します。
- 呼出時間を入力し、「確定」を選択します。  
転送先に接続するまでの秒数を、0~120秒の間で設定してください。
- 呼出時間が設定されていることが表示されます。

## ダイヤルボタン操作

- を押してください。  
メインメニューです。転送でんわサービスの呼出時間設定を行うには数字の1を、…、終了するには#を押してください。
- 1を押してください。  
転送でんわサービスの呼出秒数を0から120の間で入力し、最後に#を押してください。
- 呼出秒数を入力し、最後に#を押してください。  
※たとえば30秒を設定する場合は30#

呼出秒数をXXX秒に設定いたします。よろしければ#を、訂正するには\*を押してください。
- #を確認後、設定する場合は#を押してください。  
設定いたしました。メインメニューです。…
- #を押して終了します。

- 転送でんわサービスご契約時は、呼出時間は7秒に設定されています。
- 呼出時間の設定は、転送先を変更したり転送でんわサービスを一度停止した後も保存されます。
- 呼出時間を0秒に設定した場合、携帯電話の着信履歴に残らずに直接転送先に転送されます。
- 電波の状況によっては、設定した呼出時間と実際の呼出時間が異なることがあります。
- 転送でんわサービスを開始設定中に呼出時間の変更を行う場合は、呼出時間の変更をした後に「転送でんわサービス開始」の設定操作を行う必要があります。

# ガイダンスの有・無設定

ご契約時は、「転送ガイダンス」に設定されています。

●電話が転送される時、電話をかけてきた方には「このお電話を転送いたしますので、そのままお待ちください。」というガイダンスが流れます。このガイダンスを流さないようにすることも可能です。

## ダイヤルボタン操作

- を押してください。  
メインメニューです。転送でんわサービスの…ガイダンスの有・無設定を行うには数字の2を、…
- 2を押してください。  
転送でんわサービス中にガイダンスを流す場合には数字の1を、流さない場合には数字の0を押してください。
- 1 (ガイダンス有) 0 (ガイダンス無) いずれかを押してください。  
ガイダンスを有(無)に設定いたします。よろしければ#を、…
- #を押してください。  
設定いたしました。メインメニューです。…
- #を押して終了します。

- 携帯電話の機能としてガイダンスを設定できる機種もありますので、詳しくは、取扱説明書をご覧ください。  
なお、携帯電話の機能による設定は、上記の1429による設定にかかわらず、次の場合には優先されます。  
・あらかじめキャッチホンの開始設定をしていて、お話し中に別の電話がかかってきた際に手動で転送したとき(詳しくは、ドコモのホームページにて転送でんわサービスの操作・設定方法に掲載されている「通話中着信設定」内の「通話中にかかってきた別の電話を手動で契約サービスに接続します」をご覧ください)。  
・着信音が鳴っているときにその電話を手動で転送したとき。
- 転送ガイダンスを「無」に設定した場合、転送先が通話中や圏外るとき、電源を切っているとき、公共モードに設定しているときは、発信者には呼出音しか聞こえません。



ひとことアドバイス

## 転送先が通話中のとき、留守番電話サービスセンターへ接続するには？

留守番電話サービスを併せてご契約されている場合、転送先が話し中のときにかかってきた電話を留守番電話サービスセンターへ接続することができます。

- 端末画面からの操作  
「転送でんわ」メニューを表示させ、「転送先通話中時設定」を選択し、転送先が話し中のときに留守番電話サービスセンターへ接続する/しないの選択を行います。
- ダイヤルボタン操作  
1421#の操作を行います。  
※以降の操作は、5ページ「転送でんわサービスの開始」(ダイヤルボタン操作)をご参照ください。

転送でんわサービス

転送でんわサービス

月額使用料 **無料**

通話料

ご契約の携帯電話から転送先への通話料が、転送でんわサービスご契約者にかかります。

設定料金

「転送先の登録」「開始」「停止」など各種操作の通話料はかかりません。また、一般電話など他の電話機から遠隔操作で各種設定を行う場合、通話料はかかりません。\*

\*海外から「転送開始」「転送停止」「転送先電話番号の登録」などの操作を行った場合は、発信者にご利用いただいた国の国際通話料が直接かかります。

●転送でんわサービスを契約している携帯電話が位置登録してあるエリアから、転送先までの通話料がご契約者にかかります。

発信者

発信者に通話料  
がかかります。

転送でんわサービス  
ご契約の携帯電話

ご契約者に通話料  
がかかります。

転送先

●転送先を海外に設定している場合は、国際通話料がかかります。

●転送でんわサービスと留守番電話サービスを同時にご契約いただいている場合、通話が留守番電話サービスセンターへ接続されたときは、発信者の電話機から本サービス契約の携帯電話への通話料が発信者にかかります。

※お客さまが登録された応答メッセージが流れだした時点から通話料がかかります。

## ご利用上の注意

### ●発信者番号通知について

- 転送先への発信者番号通知は、発信者の通知／非通知が有効となります。また、海外からの通話を転送した場合、発信者の通知／非通知にかかわらず、転送先に発信者番号は通知されません。
- 発信者と転送元それぞれの電話番号が表示されます（一部端末を除きスマートフォンでは発信者のみの表示になります。また903i以降を除くSOシリーズ、M702iS、M702iG、NM850iG、らくらくホン シンプルなどの端末では発信者のみの表示になります）。

### ●他のサービスとの併用

- 留守番電話サービスと併用してご利用いただいている場合、転送でんわサービスか留守番電話サービスのいずれかを開始すると、他方は自動的に停止となります。また、現在サービス中のものを停止にしても、他方は自動的に開始にはなりません。
- キャッチホンをご利用の場合、かかってきた電話が転送されている間はキャッチホンは使えません（話中音が聞こえます）。
- 転送でんわサービスを「開始」にしている場合、コレクトコール（料金着信払通話）での着信はできません。
- テレビ電話が転送される場合には、発信者側へ転送する旨のガイダンスは流れません。
- テレビ電話で発信し転送元が「転送ガイダンス有」に設定している場合は、転送中のメッセージが画面に表示されます（901iシリーズ以降）。
- テレビ電話をご利用の場合、テレビ電話に対応していない電話機を転送先として設定すると正しく転送されません。

### ●その他のご注意

- 以下の場合、着信音が鳴らずに自動的に転送されます。この場合も、転送元から転送先までの通話料は転送でんわサービスのご契約者負担となります。
  - ・電話機の電源が入っていない場合
  - ・電波が届かないところにいる場合
  - ・呼出時間を0秒に設定している場合
- 転送でんわサービスをご契約の携帯電話から一定時間内に転送される通話の回数は、弊社が定める回数以下となります。
- リミットプラス、タイプリミット、タイプリミット バリュー、ファミリーワイドリミット、ファミリーワイドリミット バリューをご契約のお客さまはお申込みになれません（リミットプラスの新規お申込みの受付は平成17年10月31日をもって終了しました。ファミリーワイドリミットおよびファミリーワイドリミット バリューの新規お申込みの受付は平成22年3月31日をもって終了しました）。
- 転送中（転送先呼出中）は、新たな（2度目の）転送を行うことができず、発信者にはガイダンスが流れます。
- 端末により本サービスをご利用いただけない場合があります。

※転送先登録にあたっての注意事項は2ページ、遠隔操作に関する注意事項はドコモのホームページにて転送でんわサービスの操作・設定方法に掲載されている「他の電話機からの遠隔操作」をご覧ください。